

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和5年6月15日（木）

### 2 確認箇所

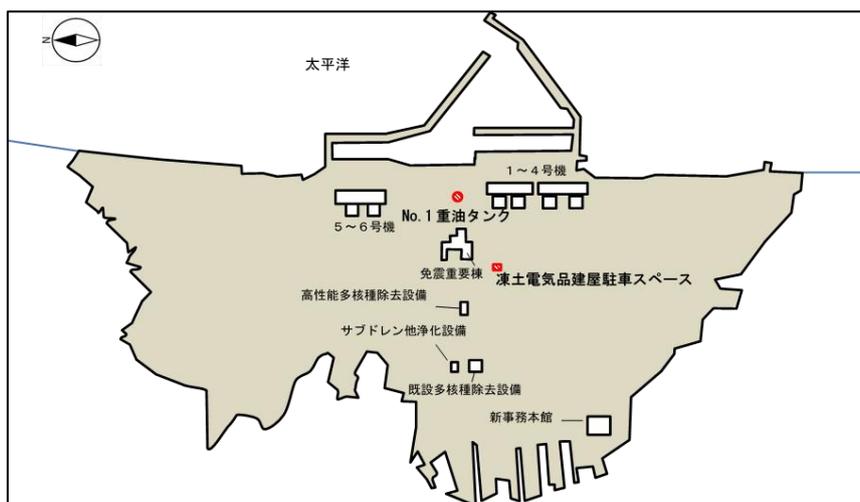
- ・凍土電気品建屋北側駐車スペース
- ・No. 1 重油タンク（1号機タービン建屋北側）

### 3 確認項目

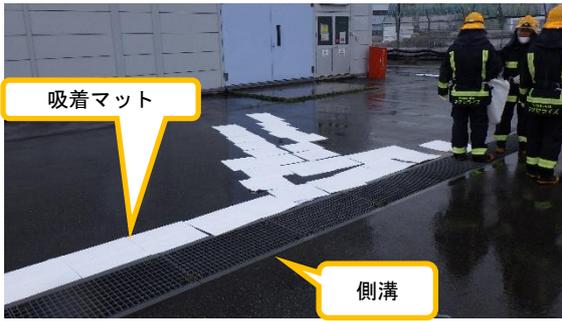
- （1）凍土電気品建屋北側駐車スペースにおける油膜の状況
- （2）No. 1 重油タンク解体撤去の状況

### 4 確認結果の概要

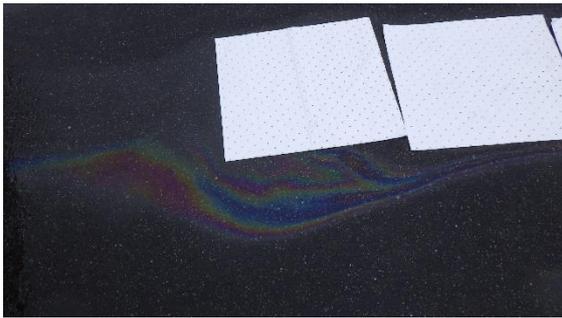
- （1）凍土電気品建屋北側駐車スペースにおける油膜の状況について  
構内凍土電気品建屋脇の駐車スペース近傍において、油膜が浮いていることを発見したと東京電力から情報提供があり、現場の状況を確認した。（図1）
  - ・現場では、東京電力や自衛消防隊の作業員数名が、油膜の状況の確認や、油吸着マット設置作業を行っていた。なお、当日は雨が降っていた。（写真1）
  - ・油膜は、現場近くの側溝に流れ込み、側溝内にも油膜を確認した。なお、側溝内部には水の流れがある状況だった。（写真2）
  - ・東京電力によれば、その後、駐車スペース上の油を吸着マットにより拭き取り完了し、側溝内の油膜の回収、側溝内の清掃を完了したとのことだった。また、排水路出口に油膜は確認されず、港湾内への漏えいはないとのことであった。



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
吸着マット設置の状況



(写真1-2)  
油膜の状況



(写真2)  
側溝の状況

## (2) No. 1 重油タンク解体撤去の状況について

津波対策の一環として現在T.P. 2.5m盤に設置されている1-4号サブドレン他集水設備を高台(33.5m盤)に機能移転する工事が進められている。これに関連して、T.P. 8.5m盤1号機タービン建屋北側にある重油タンクを解体し、その跡地に移送用中継タンクを設置する計画となっている。

No. 1 重油タンクは現在のT.P. 2.5m盤に相当する場所に設置されていたが、東北地方太平洋沖地震による津波に押し流され、1号機タービン建屋北側まで漂流し道路を塞いでいたことから、その後現在の場所に移設された。

今回は、前回に引き続き、No. 1 重油タンクの解体作業の進捗状況を確認した。(前回確認：令和5年5月11日) (図1)

- ・重油タンクの天板が撤去されていることを確認した。(写真3)
- ・前回確認時にはあった重油タンク上部の足場が一部撤去されていた。(写真4)



(写真3)  
No. 1 重油タンクの状況  
(北側から撮影)



(写真4-1)  
No. 1 重油タンクの状況  
(南東側から撮影)  
(前回撮影：令和5年5月11日)

(写真4-2)  
No. 1 重油タンクの状況  
(南東側から撮影)  
(今回撮影：令和5年6月15日)

- 5 プラント関連パラメータ等確認  
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。